

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2138
	取組方針	交通安全対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	違法駐車防止対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	違法駐車を防止することにより、道路交通の円滑化を図り、交通事故防止をもって市民の安全で快適な生活環境を確保する。				
年度概要	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン2回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査48回実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市違法駐車防止に関する条例、同施行

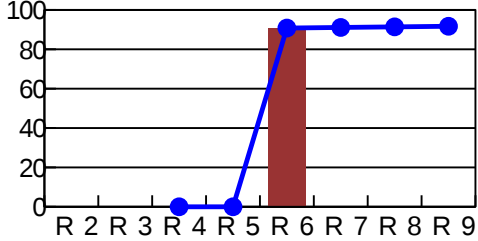
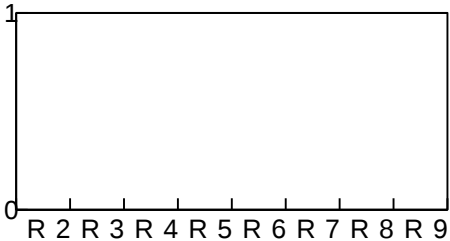
【事業の目的】

対象（何を）	違法駐車防止重点地域
意図（どのような状態にしたいか）	違法駐車防止重点地域の違法駐車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
違法駐車防止啓発キャンペーン開催回数	件	0	0	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
	重点地域街頭活動実施前後の違法駐車率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	90.8 90.7	91.1	91.4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	違法駐車防止キャンペーンを始め、周知・啓発などにより、目標値を達成できた。 令和6年度の重点地域街頭活動実施後の1日当りの平均違法駐車台数は16台で、実施前の平成5年度の173台と比べて、90.7%減少している。		(目標達成度) 99.9% (得点) 35点					
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
成果指標			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	524	527	618	772
	(事業費)	0	0	0	0
	(職員人件費)	524	527	618	772

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン 2 回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査 4 8 回実施	0 千円 0 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン 2 回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査 4 8 回実施	0 千円 0 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
違法駐車防止のための啓発街頭キャンペーンや、違法駐車防止重点地域に指定する 5 路線及び周辺 8 路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車の状態を調査するとともに、荷捌き駐車スペースやタクシーベイの利用促進に向けた周知を行った。 また、「高松市駐車対策基本計画」の一部改定を行った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
継続して、啓発街頭キャンペーンや違法駐車防止重点地域における調査を行い、違法駐車防止に努める。 また、令和 7 年 3 月に改定した「高松市駐車対策基本計画」に基づき、低利用率の駐車場の再編について検討する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

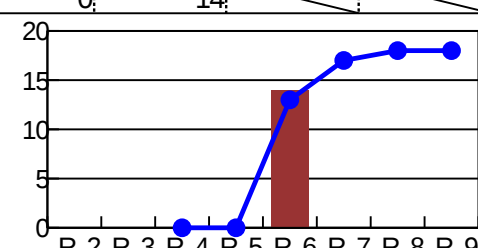
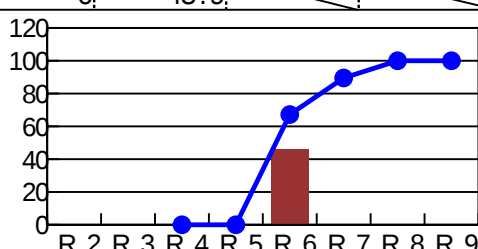
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域公共交通再編事業			

【事業全体概要】					
事業概要	持続可能な公共交通のネットワークの再構築を目指すため、令和6年6月に改定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、「高松市地域公共交通計画」及び「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業及びバス路線網の再編等を推進する。				
年度概要	新駅（太田～仏生山駅間）駅舎整備事業（補助金）、新駅（太田～仏生山駅間）駅前広場整備事業、ことでん琴平線複線化事業（栗林公園～仏生山駅間）（補助金）、ネットワークバス維持費補助金（4路線）、バス路線再編に向けた協議・調整、バタクス利用者支援事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

【事業の目的】	
対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。 鉄道を基軸、バスをフィーダーとすることを基本とし、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	0	0	3	3	3

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	交通結節拠点におけるバス結節数（都心部を除く）	路線	目標値	0	0	13	17	18	
			実績値	0	0	14			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	2024年問題による労働時間の上限規制や運転手不足への対応が求められる中、高松市地域公共交通利便増進実施計画に基づくバス路線再編を行い、大学病院線（伏石高田系統）を含む交通結節拠点に接続するバス路線を新設することにより、目標値を達成した。				（目標達成度） 107.7%				
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	ことでん新駅（太田～仏生山駅間）整備進捗率	%	目標値	0	0	67.2	89.5	100	
			実績値	0	0	45.9			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	当該指標は、ことでん新駅（太田～仏生山駅間）駅前広場の全体事業費に対する累計整備事業費の割合を整備進捗率として目標に掲げている。令和6年度は、駅前広場造成工事に着手したが、埋蔵文化財発掘調査に時間を要し、工事を翌年度に繰り越したことにより、目標の達成に至らなかった。				（目標達成度） 68.3%				
				（得点） 24点					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	319,373	199,206	114,007	528,052
(事業費)	[千円]	300,064	176,625	100,111	510,296
(職員人件費)	[千円]	19,309	22,581	13,896	17,756

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	新駅(太田～仏生山駅間)駅舎整備事業(補助金)、 新駅(太田～仏生山駅間)駅前広場整備事業、新駅(太 田～仏生山駅間)駅舎整備事業(補助金)【繰】、こと でん琴平線(栗林公園～仏生山駅間)複線化事業(補助金)、ネットワークバス維持費補助金(3路線)、タク シーを活用した新モード導入に向けた実証事業、バス路 線再編に向けた協議・調整	0千円	総額	100,111	
		21,103千円	特定 財源	国	9,626
		62,579千円		県	0
		7,940千円		市債	8,600
		3,848千円		他	1,140
		0千円	一般財源	80,745	
	【繰越明許】				
	4,642千円				
令和 7 年度	新駅(太田～仏生山駅間)駅舎整備事業(補助金)、 新駅(太田～仏生山駅間)駅前広場整備事業、こと でん琴平線複線化事業(栗林公園～仏生山駅間)(補助金)、 ネットワークバス維持費補助金(4路線)、バス路線 再編に向けた協議・調整、バタクス利用者支援事業	37,170千円	総額	510,296	
		287,983千円	特定 財源	国	187,784
		130,500千円		県	0
		33,614千円		市債	126,900
		107千円		他	14,000
		20,922千円	一般財源	181,612	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	87 / 100 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
大臣認定を受けた「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、バス路線再編に取り組むとともに、太田～仏生山駅間の新駅整備については、埋蔵文化財発掘調査等を行った。 また、タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」の創出に向けた実証事業の結果、区域運行については、社会実装に移行した。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、ことでん新駅の早期完成に取り組むとともに、公共交通利用の需要の少ない地域に対するコミュニティバスの見直しやバタクスの水平展開による公共交通の確保・維持に向け、地域住民と協議・調整を図りながら、地域に見合った運行形態を実現する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公共交通維持改善事業（交通政策課分）			

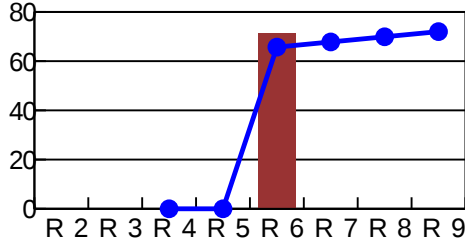
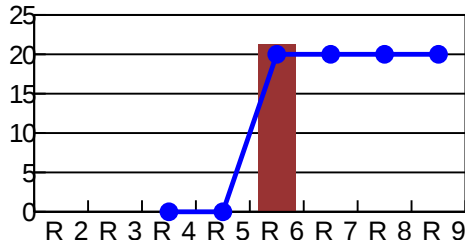
【事業全体概要】					
事業概要	生活バス路線への運行補助や離島航路運航維持費補助などを行うことで、公共交通の維持や利便性の向上を図り、良好な交通環境を確保する。 ・生活バス路線補助（路線バス及びコミバス等に対する運行補助、ノンステップバス減価償却費補助等） ・I r u C aシステム運用支援（機器補助、割引差額補助） ・離島航路運航維持費補助 ・パークアンドライド駐車場管理				
年度概要	生活バス路線への助成、コミュニティバス施設等管理費、離島航路への助成、パークアンドライド駐車場管理費、都市交通問題対策事業費、UDタクシー導入促進				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生活交通路線維持費等補助金交付要綱

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「公共交通の利便性の向上」及び「地域主導型の持続可能な公共交通の構築」を図ることで、移動しやすく利用しやすい交通環境を確保し、公共交通に対する満足度を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
コミュニティバス等利用促進協議会開催回数	回	0	0	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	パークアンドライド駐車場利用率	%	目標値	0	0	65.7	67.8	69.9
			実績値	0	0	71.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	当該指標は、過去の実績を基に、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。令和6年度の駐車場利用率は、71.4%と目標を達成できた。							
			(目標達成度)					
			(得点)					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	コミュニティバス等の収支率(平均値)	%	目標値	0	0	20	20	20
			実績値	0	0	21.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	各地区のコミュニティバス等の利用促進協議会等において、利便性の向上や効率的な運営について協議し、取組を行ったことなどにより目標を達成できた。							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	167,560	158,602	151,460	177,186
(事業費)	[千円]	153,266	138,354	136,715	161,669
(職員人件費)	[千円]	14,294	20,248	14,745	15,517

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	生活バス路線への助成、コミュニティバス施設等管理費、 離島航路への助成、パークアンドライド駐車場管理費、 都市交通問題対策事業費、UDタクシー導入促進	8 4 , 9 5 5 千円	総額	136,715	
		1 , 0 7 2 千円	特定財源	国	0
		4 1 , 1 7 5 千円		県	10,385
		2 , 8 5 0 千円		市債	0
		3 , 7 3 4 千円		他	2,854
		2 , 9 3 0 千円		一般財源	123,476
令和 7 年度	生活バス路線への助成、コミュニティバス施設等管理費、 離島航路への助成、パークアンドライド駐車場管理費、 都市交通問題対策事業費、UDタクシー導入促進	1 0 4 , 7 1 9 千円	総額	161,669	
		7 8 8 千円	特定財源	国	0
		4 6 , 2 4 2 千円		県	22,341
		3 , 3 1 0 千円		市債	0
		3 , 7 6 0 千円		他	3,314
		2 , 8 5 0 千円		一般財源	136,014

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和6年4月をもって終了した多肥・仏生山地区における試験運行事業は、補助要件として定められた収支率の達成が困難な状況であった。公共交通空白地域における移動手段を確保していく上で、現行の補助制度だけではカバーすることは難しくなっており、支援の在り方の見直しが必要である。

公共交通空白地域における移動手段の確保については、各地域の需要にあった交通モードが適用できる仕組みになるよう、関係事業者等と合意形成を図り、支援の在り方を見直す。

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	J R 端岡駅周辺整備事業			

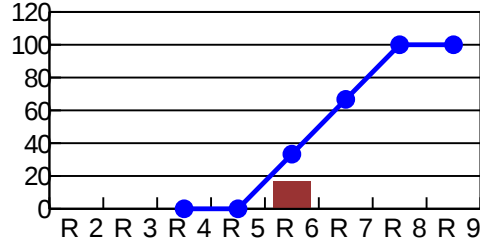
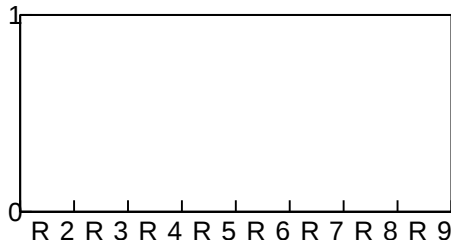
【事業全体概要】					
事業概要	本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指し、本市西部南地域の核となる駅として利便性の向上と交通結節拠点機能を強化するため、J R 端岡駅の駅舎や駅前広場・国道からのアクセス道路等一体的な整備を推進する。				
年度概要	関係機関との協議・調整				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法

【事業の目的】	
対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。 鉄道を基軸として、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	事業着手までの進捗率	%	目標値	0	0	33.3	66.7	100
			実績値	0	0	16.7		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	当該指標は、令和 6 年度を基準年度とし、8 年度における事業着手を目標に掲げている。6 年度は、駅周辺整備基本構想策定に向けた業務委託により、利用者の将来需要予測等の検討に日時を要し、年度内の完了が不可能となったことから、進捗率は 16.7 % となり、目標の達成には至らなかった。		(目標達成度) 50.2%					
		(得点) 18点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	3,383	10,538	9,264	9,322
(事業費)	[千円]	90	0	0	58
(職員人件費)	[千円]	3,293	10,538	9,264	9,264

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	関係機関との協議・調整 JR東岡駅周辺整備事業化検討業務	0千円 0千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	関係機関との協議・調整	5 8千円	総額	58	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	58	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	58 / 100 (58 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ＪＲ端岡駅周辺整備基本構想（案）の作成に向けては、ＪＲ端岡駅周辺整備基本構想策定業務委託により、将来需要予測及び事業効果検証を行っている。鉄道事業者との間で、これらの検証結果を共有し、ＪＲ端岡駅の駅舎及び駅前広場、アクセス道路を全体パッケージとして交通結節拠点機能を強化するための合意形成を図る必要がある。

持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けて、ＪＲ端岡駅周辺整備基本構想策定業務委託により、将来需要予測及び事業効果検証を行うとともに、整備内容の実現可能性の確認を行い、これらの検証結果を鉄道事業者と共有し、交通結節拠点機能の強化のため、ＪＲ端岡駅の駅舎及び駅前広場、アクセス道路を全体パッケージとしたＪＲ端岡駅周辺整備基本構想（案）を取りまとめる。また、国の補助メニューなどを活用した事業スキームを確立するなど財源の確保に努める。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実	担当	課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公共交通利用促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	多様な交通手段が有機的に連携した、いつまでも快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存しない本市の目指すべき都市交通の将来ビジョンを明らかにした「高松市総合都市交通計画」や、平成25年9月に公布・施行した「高松市公共交通利用促進条例」に基づき、各種施策・事業の推進や市民啓発活動等を行う。				
年度概要	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業（鉄道・バスノバス・バス乗継割引、高齢者割引） バス補助金等（バス待ち環境、バスマップ） 安全輸送設備等整備補助金（ことでん） I r u C a電子マネー利用手数料				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市公共交通利用促進条例

【事業の目的】

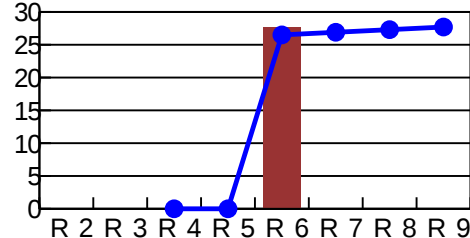
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市総合都市交通計画や高松市公共交通利用促進条例の理念に基づき各種施策を展開することにより、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。

【事業の活動】

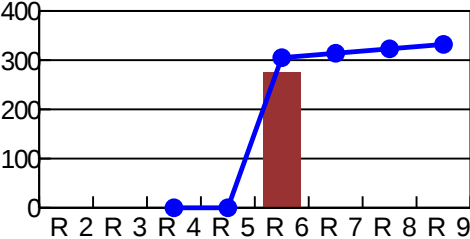
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
有効ゴールドI r u C a保有率	%	目標値	0	0	26.5	26.9	27.3
		実績値	0	0	27.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
当該指標は、市内在住の高齢者に対する公共交通利用促進支援制度として、有効ゴールドI r u C a保有率について、毎年度一定の利用率の向上を目標に掲げている。I r u C a保有率は27.6%と向上し目標を達成するとともに、高齢者公共交通利用運賃支援事業の利用件数について前年度から増加した。		(目標達成度)					
		104.2%					
		(得点)					
		35点					

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
電車・バス乗継件数	千件	目標値	0	0	305	314	323
		実績値	0	0	275		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
当該指標は、電車とバスの乗継件数について、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。2024年問題に伴う労働時間等の規制や運転手不足を背景とした市内バス路線の大幅な減便に伴い、電車・バスの乗継件数は、約275千回と目標の達成には至らなかった。		(目標達成度)					
		90.2%					
		(得点)					
		32点					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	114,535	133,111	270,347	589,583
(事業費)	[千円]	109,371	123,326	264,943	584,179
(職員人件費)	[千円]	5,164	9,785	5,404	5,404

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業(鉄道・バス/バス・バス乗継割引、高齢者割引) バス補助金等(バス待ち環境、バスマップ) 安全輸送設備等整備補助金(ことでん) I r u C a電子マネー利用手数料 その他 事務的経費等(旅費、負担金)	2 3 4千円 1 2 2 , 0 1 3千円 6 1 9千円 1 4 1 , 3 0 5千円 1 8 4千円 5 8 8千円	総額	264,943	
			特定財源	国	38,538
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	226,405	
令和 7 年度	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業(鉄道・バス/バス・バス乗継割引、高齢者割引) バス補助金等(バス待ち環境、バスマップ) 安全輸送設備等整備補助金(ことでん) I r u C a電子マネー利用手数料 その他 事務的経費等(旅費、負担金)	3 5 0千円 1 3 2 , 3 9 7千円 6 7 7千円 4 4 9 , 6 1 0千円 2 2 7千円 9 1 8千円	総額	584,179	
			特定財源	国	192,690
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	391,489	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	97 / 100 (97 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松市が取り組んでいる公共交通ネットワークの再構築について、コミフェス等のイベントを活用し、利用者に周知啓発を行った。また、利用促進に資する施策として、電車・バス及びバス・バス乗継割引や高齢者運賃割引施策を継続した。

なお、コロナウイルス感染症により減少した公共交通利用者は徐々に回復傾向にあるものの、公共交通の維持に向けては、交通事業者における運転手確保が課題となっている。

公共交通の維持・確保に向け、公共交通事業者と連携した新たな利便性向上の施策等を検討し、利用者の回復に努める。また、地域住民に対しては、継続して市政出前ふれあいトークやイベント等を活用し、割引施策等の説明を行うとともに公共交通の利用に関する周知・啓発を行う。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	放置自転車等対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	快適で安全なまちづくりを目指すため、放置自転車等の警告、移送、保管、返却、処分等を行う。				
年度概要	放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市自転車等の適正な利用に関する条例、

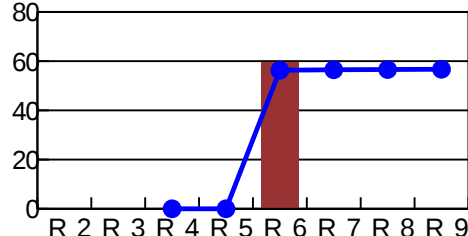
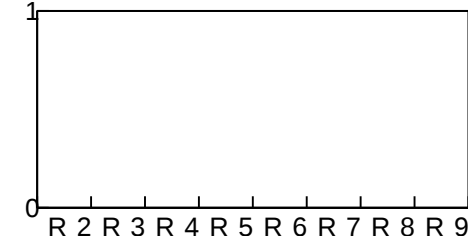
【事業の目的】

対象（何を）	放置自転車の禁止区域
意図（どのような状態にしたいか）	放置自転車を減少させ、交通の円滑化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
放置自転車警告撤去回数	回	0	0	168	168	168

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	放置自転車警告件数減少率		%	目標値	0	0	56.3	56.5	56.6
				実績値	0	0	59.6		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発に努めた。 令和6年度の放置自転車警告件数は、32,394件で、平成16年度のピーク時80,279台と比べて59.6%減少し、目標を達成することができた。		(目標達成度) 105.9%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
		(得点)							

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	43,311	44,178	42,418	47,063
(事業費)	[千円]	36,201	37,027	36,242	39,343
(職員人件費)	[千円]	7,110	7,151	6,176	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	放置自転車の警告、撤去、移送業務を 1 4 回 / 月行う。 放置自転車の返還業務を年間 2 4 8 日行う。	自転車駐車対策促進事業 (民間駐輪場補助を除く) 3 6 , 2 4 1 千円	総額	36,242	
			特定財源	国	0
				県	1,591
				市債	0
				他	2,029
			一般財源	32,622	
令和 7 年度	放置自転車の警告、撤去、移送業務を 1 4 回 / 月行う。 放置自転車の返還業務を年間 2 4 8 日行う。	自転車駐車対策促進事業 (民間駐輪場補助を除く) 3 1 , 8 1 3 千円	総額	39,343	
			特定財源	国	0
				県	1,608
				市債	0
				他	2,200
			一般財源	35,535	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

広報やポスター等で放置自転車対策に関する周知・啓発を行った効果により、放置自転車の減少に寄与した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

また、中心市街地（中央商店街等）の放置自転車対策に係る新たな手法や、放置自転車禁止区域の見直しを検討する。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

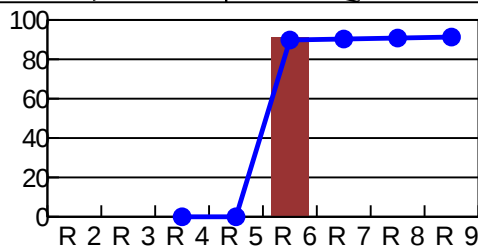
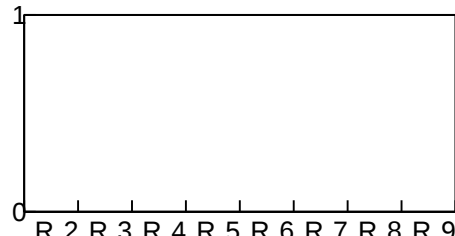
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	レンタサイクル事業			

【事業全体概要】					
事業概要	環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車を、市民の利用に供することで、近距離移動の利便性を向上し、合わせて放置自転車の防止を図る。				
年度概要	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：850台				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市レンタサイクル条例、自転車の安全利

【事業の目的】	
対象（何を）	市街地中心部における主要鉄道駅利用者 （JR高松駅、JR栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、琴電栗林公園駅）
意図（どのような状態にしたいか）	自転車を近距離交通機関の一つとして市民の利用に供することで、地域交通の利便性の向上及び自転車の放置防止を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	レンタサイクルの利用可能日数	日	0	0	365	365	365

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	放置自転車撤去台数(禁止・整理区域)減少率	%	目標値	0	0	89.8	90.3	90.8
			実績値	0	0	91.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	商店街クリーン作戦の実施など周知啓発を図るとともに、放置自転車の撤去を継続的に実施したことで、令和6年度の放置自転車撤去台数(禁止・整理区域)は、889台で、平成14年のピーク時10,245台と比べて91.3%減少し目標を達成することができた。		(目標達成度) 101.7% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	70,044	71,131	74,457	79,080
(事業費)	[千円]	61,961	63,002	67,277	69,970
(職員人件費)	[千円]	8,083	8,129	7,180	9,110

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：850台	レンタ事業費67,209千円	総額	67,277	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	53,901
			一般財源	13,376	
令和 7 年度	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：850台	レンタ事業費69,970千円	総額	69,970	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	20,782
			一般財源	49,188	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	0	検討すべきである
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民や観光客の行動変容を捉え、スマートフォンアプリを活用した登録申請やキャッシュレス決済などを取り入れた新たなレンタサイクルシステムでの運用を令和４年４月から開始している。利用者数は、令和４年度と比較し、増加したものの、目標値までには至らなかった。また、令和６年８月に行った、外部評価により、収支改善や利便性向上のため、民営化等の可能性を模索すべきとの意見をいただいた。

令和4年度からの新たに、スマートフォンアプリを活用した登録申請やキャッシュレス決済が可能なレンタサイクルシステムを導入したが、利用者数が伸び悩み、収支率は改善されていない。外部評価の意見を踏まえ、民間企業等と連携し、持続可能な事業スキームや収支構造の構築を検討するための実証事業を行うことで、民営化等も視野に入れながら諸課題を整理する。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	駐輪場整備事業			

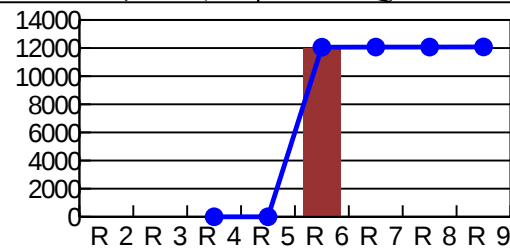
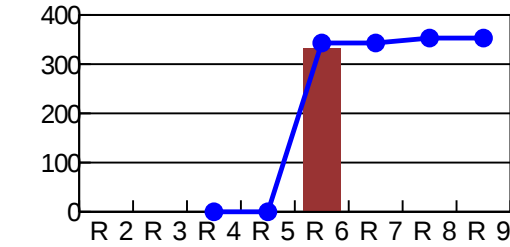
【事業全体概要】					
事業概要	自転車等の利用者の利便を図るとともに、放置自転車を減少させるため、自転車等駐車を整備する。				
年度概要	民間駐車場補助事業（継続7件333台）				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市自転車等の適正な利用に関する条例、	

【事業の目的】	
対象（何を）	整備が必要な駅及び商店街
意図（どのような状態にしたいか）	市内の放置自転車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
新規駐輪場整備台数	台	0	0	-96	10	10
民間駐輪場への補助金交付件数	件	0	0	7	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数			台	目標値	0	0	12,060	12,070	12,070
					実績値	0	0	11,964		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	当該指標は、令和5年度末の収容台数を基に、毎年度一定の収容台数増を目標に掲げている。令和6年度は、林道駅・渦元駅の環境改善による収容台数の減少及び一宮駅の土地所有者による新規建築で駐輪場面積が減少し、収容台数も減少したことで、目標台数を達成できなかった。					(目標達成度) 99.2%		(得点) 35点		
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	補助駐輪場の収容台数			台	目標値	0	0	343	343	353
					実績値	0	0	333		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	当該指標は、令和5年度末の収容台数を基に、毎年度一定の収容台数増を目標に掲げている。令和6年度の実績は、補助駐輪場を増やすことができなかったことから目標台数を達成できなかった。目標台数を達成するため、商店街振興組合と連携し、引き続き商店街における駐輪場の確保に努めたい。					(目標達成度) 97.1%		(得点) 34点		

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	11,424	9,787	10,072	10,604
(事業費)	[千円]	9,179	7,529	8,374	8,674
(職員人件費)	[千円]	2,245	2,258	1,698	1,930

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	民間駐車場補助事業（継続7件333台）	民間補助金 7,529千円	総額	8,374	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,374	
令和 7 年度	民間駐車場補助事業（継続7件333台）	民間補助金 7,530千円 駐輪場整備費 1,144千円	総額	8,674	
			特定財源	国	0
				県	1,144
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,530	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

昨年度は、鉄道駅周辺の公共駐輪場を新たに整備することができなかったが、引き続き、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める必要がある。

令和４年４月に策定した、「第３期高松市自転車等駐車対策総合計画」に基づき、鉄道事業者等の協力を得ながら、必要な自転車等駐輪場整備とともに、放置自転車対策や駐輪場利用者のマナー向上の啓発などにも取り組む。

また、中心市街地（中央商店街等）における自転車等駐車場のあり方を検討し、整備方針を立てる。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	広域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	空港・港の拠点機能の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	航空路線網拡大促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松空港振興期成会の一員として、高松空港における国内路線網及び国際路線網の整備拡充並びに他空港との交流推進を行う。 ・高松空港振興期成会への負担金の措置 ・高松空港整備事業への負担金の措置				
年度概要	高松空港振興期成会負担金等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	空港法、高松空港振興期成会規約等

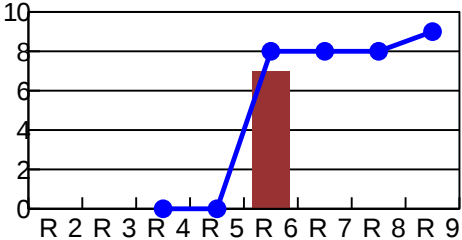
【事業の目的】

対象（何を）	高松空港乗降客
意図（どのような状態にしたいか）	航空路線の拡大により利用促進に努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
高松空港エアライン誘致等協議会参加回数	回	0	0	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
	定期路線数	路線	目標値	0	0	8	8	8																			
			実績値	0	0	7	8	8																			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 2</td><td>0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 7</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 8</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 2	0	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	87.5	R 7	87.5	R 8	87.5	R 9	100
	年度	達成率 (%)																									
R 2	0																										
R 3	0																										
R 4	0																										
R 5	0																										
R 6	87.5																										
R 7	87.5																										
R 8	87.5																										
R 9	100																										
新規定期路線は無く、平成 2 8 年度からの定期路線を維持している。		(目標達成度)	87.5%																								
国内定期路線 3 路線：東京【羽田】、東京【成田】、沖縄 国際定期路線 4 路線：ソウル、上海、台北、香港		(得点)	31点																								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
			目標値																								
			実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																										
			(目標達成度)																								
		(得点)																									

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	57,047	120,273	152,009	154,340
(事業費)	[千円]	52,332	115,682	145,833	148,164
(職員人件費)	[千円]	4,715	4,591	6,176	6,176

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高松空港振興期成会負担金等 高松空港関連整備事業地元負担金	1 2 3 , 2 9 6 千円 2 2 , 5 3 9 千円	総額	145,833	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	20,200
				他	0
			一般財源	125,633	
令和 7 年度	高松空港振興期成会負担金等	1 4 8 , 1 6 4 千円	総額	148,164	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	148,164	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルスの影響で運休となっていた国際線については順次再開され、最後まで運休となっていた上海線についても令和6年4月から運行が再開された。また、ソウル線については、同年7月から2社運航となり、週7便から14便に増便された。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
 既存路線の活性化や新規路線の開設に向けて高松空港振興期成会及び高松空港エアライン誘致等協議会の構成員として取り組む。

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	交通政策課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2138
	取組方針	航路の確保と利便性の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	離島航路振興事業			

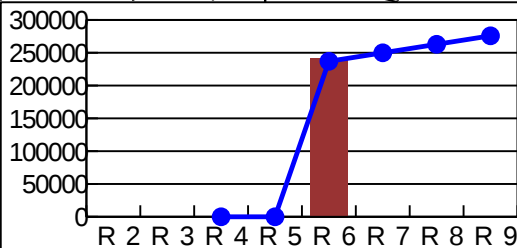
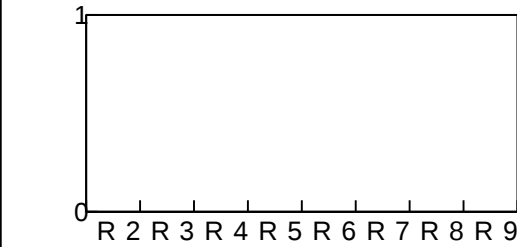
【事業全体概要】					
事業概要	女木島及び男木島に観光客を呼び込み定着させ、ひいては、航路の活性化を図るため、世界に向けた瀬戸内の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興・活性化に向けた取組などを行う。 ・男木～高松航路改善計画の実施 ・航路事業者、自治体及び地域等の共同により、地域総力戦による「島おこし」に取り組む。				
年度概要	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	「男木～高松航路」における運賃割引事業補

【事業の目的】	
対象（何を）	女木・男木島航路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	航路の活性化により利用促進に努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
離島航路確保維持改善協議会開催回数	回	0	0	3	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	女木・男木島航路利用者(直近3か年平均)			人	目標値	0	0	236,937	249,888	262,840
					実績値	0	0	241,882		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	令和6年度の女木・男木島航路利用者(直近3か年平均)は241,882人となり、目標値を上回った。			(目標達成度) 102.1%						
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
				(目標達成度)						
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	12,920	12,984	14,324	15,159
(事業費)	[千円]	8,205	8,091	8,148	8,983
(職員人件費)	[千円]	4,715	4,893	6,176	6,176

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催	8 , 1 4 4 千円 4 千円	総額	8,148	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,148	
令和 7 年度	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催	8 , 9 6 8 千円 1 5 千円	総額	8,983	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,983	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

住民の移動手段の確保にとどまらず、交流・定住人口の拡大に向けて、事業を継続することが必要である。

離島航路の利用促進は、「離島振興」及び「地域間交流の推進」に資するため、離島航路の利用促進施策における事業を継続する。